



かしこく・やさしく・たくましく

島小だより

<https://ohshima-e.sagamihara.andteacher.jp>

相模原市立大島小学校

学校だより 第 598 号

令和 8 年 9 月 1 8 日発行

10月号



学校 HP ↑

10 歳まで、10 歳から

学校長 川上 孝生

私は小学校や中学校で多くの子どもたちと保護者とも出会い、自分の子育ても経験しました。これまでの経験から、人の成長について気づくことがいろいろあります。

「10 歳くらいを境に、子どもの環境や心が変わっていく」ということもその一つです。例えば、10 歳ころから、子どもの過ごす時間や場所が家庭から学校(社会)へと増えていきます。10 歳までの子どもへ与える影響は家庭環境が大きく、10 歳までの子どもの言動は家庭の責任だと考えています。保護者の方から「子どもが先生に『おまえ』と言われた、子どもが『おまえ』と言ったら叱っている、教員としていかなものか」と指摘されたことがあります。ごもっともなお話です。また、私は小学 1 年生に「おまえは誰だ」と言われたことがあります。「入学式の時にお話をした校長です」と答えました。

入学前の教育の場はおもに家庭です。言葉遣いや衣食などの基本的な生活習慣は家庭で身につけます。子育ては大変ですが、10 歳までは丁寧に家庭で育てるべきだと思います。

10 歳になると、学校で過ごす時間や学習内容が増えます。中学校では部活動も始まります。子どもが過ごす時間や場所が変わっていくのです。学校では、おもに教科書の学習内容と集団生活での過ごし方を学びます。マナーや言葉遣いなど、社会に出て、集団でも生活できるようにするのが学校の役割なのです。10 歳を過ぎると、親よりも友達や教員と過ごすことが多くなり、その影響も大きくなると思います。この時期にどのような仲間や師と出会うかが重要になります。

さて、親の役割です。10 歳までは子どもの成長を褒めながら、他者と比べないことです。子どもは「見ていて」と自分のできることを認めてもらおうとします。10 歳からは他者と比較しながらも子どもの個性やよさを見つけ、褒め、自信をつけさせることです。叱り方も「だめ」や「世間では通用しない」ではなく、「私(親)は(こういう理由で)、こう思うけど」と子ども主体に考えさせるとよいと思います。子どもの成長とともに指導(褒め方や叱り方)を考えなくてはなりません。10 歳まで子どもに関わらず、10 歳過ぎてからガツンと怒るのは最悪です。大変ですが、後悔しないように子育てを楽しみましょう。

学校経営スローガン

かしこく やさしく たくましく

行こうよ大島小へ

明日も 行きたくなる学校に



【学校行こうデー ご来校ありがとうございました】

赤ちゃんを抱っこして授業見学をされた方がいました。授業が終わると子どもたちが「かわいい」と赤ちゃんに集まりました。微笑ましい光景で、これが大島の温かさだなと思いました。今後も気軽にご来校ください。児童を授業に集中させる理由から授業公開を 2、3 校時と限定いたしました。ご理解・ご協力くださり、ありがとうございました。